

# 令和 4 年度 学校評価報告書

園 名	三田市立志手原幼稚園
-----	------------

## 1 教育目標

- 意欲的な子…どんな遊びにも喜んで取り組み  
力いっぱいがんばる子
- やさしい子…みんなと仲良く遊び  
こころ豊かな思いやりのある子
- 元気な子…明るくよく遊ぶたくましい子

## 2 重点目標

『様々な人や友だちの中でつながり合う力を育てる』  
～4・5歳児が伝え合い、分かり合おうとする姿を  
支える教師の役割を探る～

4歳児…安心した園生活の中で  
友だちと関わり合って遊ぶ楽しさを味わう。

5歳児…思いを伝え、認め合いながら、目的に向かって  
遊びや生活を進めていく楽しさを味わう。

## 3 自己評価結果

分野 領域	評価項目	幼稚園の取組状況・ 改善の方策	4 学校関係者評価
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>○内面理解を深めながら、4・5歳児それぞれの発達過程を捉えて保育している。活動や行事等保育内容は充実し、子ども達は意欲的に取り組んでいる。</li> <li>○主体性を育み、活動を通して友達と協力し、粘り強く取り組む力や自己肯定感などを高めている。</li> <li>○職員間で連携し、様々な角度から子どもの姿を捉えて関わっている。子ども達は身近な人と信頼関係をつなぎながら、人とつながり合う力が育まれてきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内面理解に努め、発達段階を捉え、育ちの姿に願いと見通しをもった保育計画を立てた。子ども達は意欲的にいきいきと遊びや活動に取り組んだ。</li> <li>・幼児の興味、関心を見とり、環境を整え、主体的に取り組む姿を支えた。友だちと協同してやりたいことにじっくり取り組む姿が見られた。</li> <li>・4・5歳児が互いに声をかけ合い相手の思いや考えに寄り添い分かつようとする姿を様々な場面で見ることができ、人とつながり合う力が育まれてきている。</li> </ul>	<p>保護者アンケートからも、職員が一人ひとりの個性や発達の違いを理解しながら丁寧に子ども達と向き合っていることがよく分かった。生活発表会を視察し、園児それぞれが自分の役割をしっかりと表現できていて感動した。友達のことにも気を配るやさしい姿や、失敗してもあきらめないで頑張る姿に子ども達の成長を感じた。4歳児・5歳児同士の横のつながり、4歳児と5歳児の縦のつながりがしっかり出来ていることが分かった。</p>
子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>○未就園児の保育体験として、園児との交流の工夫をしている。</li> <li>○親同士が安心して集い、温かなつながりを育むことができる場作りの工夫をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して楽しく参加できる内容を計画し、積極的に声かけし、初参加も増えた。</li> <li>・保護者サークルは、誰もが安心して気負わず集えるような内容や案内の掲示、声かけに努めた。</li> </ul>	<p>気負わず参加できるように内容や声かけを工夫し、安心して集まれる場になっていると思う。今後も保護者同士の輪を大切に続けていってほしい。</p>
連携 保護者・地域住民との	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通信や登降園時、行事など様々な機会をとおして、園の取り組みや教師の願いと意図、幼児の育ちを分かりやすく伝えようとしている。</li> <li>○地域の人と連携し、ふるさとを愛する心を育めるような、ふれあいや体験活動ができる場作りを工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の取り組みや教師の願い、幼児の育ちや学びの姿の写真を用いたドキュメンテーションを作成して積極的に伝えるようにした。</li> <li>・継続した自然体験活動や交流会を計画した。コロナ禍で中止していた地域の人の来園機会を、少しずつ戻せるように活動内容を工夫した。</li> </ul>	<p>園だよりで子どもの様子が良く分かり嬉しく感じている。コロナによる制限がだんだんと緩和されてきているので、次年度はさらに地域との交流活動を戻していってほしい。地域との温かい交流があるこの環境は、子ども達にとって宝物だと思う。</p>
学 校 連 携 園	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校と連携をしながら様々な交流活動を工夫している。</li> <li>○中学校区の連携推進への参画に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生との楽器作りでは言葉で思いを伝え合う力を育む一助となり、互恵性のある交流活動ができた。</li> <li>・中学校区の4園交流会を中学校で実施することができた。</li> </ul>	<p>少人数の環境を活かしさらに交流を増やしてほしい。共同製作は小学生にもよい機会になっている。交流を通して学び、刺激し合い、憧れや意欲へとつながっている。</p>

## 5 総合的な評価結果

友だちとの思いの伝え合いにポイントを絞り、分かり合おうとする姿を支える教師の援助を探ってきた。日々教師間で保育を振り返る時間を大切にし、幼児の姿をどう読みとり、どのように意図して援助をしたかなど語り合い、学び合い、明日の保育へつなげた。4・5歳児が互いに声をかけ合い、相手の思いや考えに寄り添い分かつようとする姿を様々な場面で見ることができた。次年度も、保護者や地域の人の協力を得ながら、互いに支え合い認め合える関係性を育んでいけるように保育の充実を図っていきたい。

## 6 総合的な学校関係者評価

異年齢の子ども達が互いを思いやりながら色々な経験を共に乗り越え、絆を深め、目標に向かって頑張っている。そのような姿を一年を通して見せていただき、たいへん嬉しく思っている。アンケートからも保護者が安心して預けていることがよく分かった。少人数だからこそ友達との関わりが濃くなり、認め合い、分かり合い、そして助け合う気持ちも強くなるのだろう。職員が一人ひとりをよく見てきめ細やかな指導をしており、子ども達に寄り添う温かい気持ちが伝わってくる。